

第6学年 防災教育 実践報告

- ねらい**
- ・古川西小学校の敷地内にある防災倉庫やマンホールトイレなどの防災設備を見学したり、説明を受けたりして自分たちの通っている学校が災害時には避難所となり、人々の役に立つことがわかる。
 - ・自分が住んでいる地域にはどんな災害の危険があるのかハザードマップを見ながら考えたり話し合ったりして、どんな備えが必要なのか自分事として考えることができる。

過程	学 習 活 動	◇準備・児童の様子
導 入	・金田さんから、防災士の説明を聞き、今日の学習について知る。 ①水害と土砂災害を想定して、自分の地域を知ろう。 ②防災倉庫や、マンホールトイレの見学を通して、災害が起きた時の避難について考えよう。 ◎過去の飛騨市西小校下の災害写真を見て、飛騨市ではどんな災害が起きているのかを知り、自分事としてとらえる。 ・実績浸水深の看板の写真を見て、過去の災害で実際にどこまで水が浸水したのかイメージを持つ。 ・ハザードマップの見方について説明を聞く。 ・避難の判断について飛騨市の基準について知る。 ◎地域ごとのグループに分かれて、ハザードマップを見る。 ・自宅の位置を確認し、ハザードマップに●印をつける。 ・一時避難所、指定避難所を確認して▲印をつける。 ・防災士のアドバイスを受けながら、避難所までの避難経路を考える。 ・近くの危険個所を確認する。 ◎防災倉庫の見学をする。 ・飛騨市役所危機管理課の川野さんの話を聞く。 ・防災倉庫にはどんなものが入っているか、何人分くらい入っているか、何日分くらい入っているかをクイズ形式で答える。 ◎体育館横に設置したマンホールトイレを見学し、説明を聞く。 ・どのような仕組みになっているか、災害が起きて避難所になった時のトイレの重要性について理解する。	・飛騨市の過去の災害の写真 ・実績浸水深の看板の写真 ・ワークシート ・ハザードマップ、飛騨の防災ハンドブック ・マンホールトイレの設置  自分の家はここだよ。避難所までは、どうやって行くと安全かな？ 
展 開	◎防災倉庫の見学をする。 ・飛騨市役所危機管理課の川野さんの話を聞く。 ・防災倉庫にはどんなものが入っているか、何人分くらい入っているか、何日分くらい入っているかをクイズ形式で答える。 ◎体育館横に設置したマンホールトイレを見学し、説明を聞く。 ・どのような仕組みになっているか、災害が起きて避難所になった時のトイレの重要性について理解する。 ◎災害が起き、避難するときにどんなものが必要か、自分がリュックに入れて持っていくものを考えてワークシートに書き出す。 ・いつでも災害は起きるものと考えて、普段から準備しておくことの重要性を理解する。 ◎今日、学んだことの感想を交流しあう。 【児童の感想】 ・災害は、いつ来るかわからないから早めに準備しようと思った。避難経路を家族で確認しようと思った。ハザードマップをもう一度家族で見、どこが危ないか、どこに避難するかを確認しようと思った。 ・普段普通に通っていた道も意識してみたら、「実績浸水深」と書かれた看板がたくさんあってびっくりした。 ・飛騨市独自の警戒レベルがあることは知らなかった。 ・防災士さんの話を聞いて、避難するときに持っていくリュックはできるだけ軽くしたほうがよいと聞いたので、軽くなるように準備したいと思った。 ・もしも風水害があったら食料や必要なものを持って、一番川から遠く高い部屋に避難したほうがよいことがわかりました。	防災倉庫の中に入っていないものは何でしょう？  避難所に持っていく物の中に携帯トイレもあるといいな。 
ま と め		